

公益財団法人日本野球連盟 特定費用準備資金の設立状況

(2013年7月12日現在)

資金の名称	第90回都市対抗野球大会記念事業基金	第40回社会人野球日本選手権大会記念事業基金	海外研修派遣事業費積立金	クラブチームの全国大会出場支援基金
特定活動の名称及び内容	記念誌の制作、記念式典やPRイベントの実施等	記念誌の制作、記念式典やPRイベントの実施等	将来、日本野球連盟に所属しているチームや団体、指導者、選手、審判員等を対象に競技力向上や国際交流を目的として海外に派遣する事業を実施するための基金とする。	都市対抗野球大会や社会人野球日本選手権大会に出場するクラブチームを対象とし、出場に係る諸経費の一部を支援することを目的とする。代表権獲得後、短期間で出場資金調達が必要であることからクラブチームの運営をサポートする主旨から本基金を制定する。
計画期間	2012年度から2018年度	2012年度及び2013年度	2012年度より期限なし	2012年度より期限なし
活動の実施予定時期	2019年度の事業として実施予定	2014年度の事業として実施する。	理事会の承認を得て事業実施年度の事業計画に盛り込み、必要額を取り崩すこととする。	2013年度から実施する。
積立額(上限額)	15,000,000円 ※2012年度は300万円とし、以後、年額200万円を6年間積み立てることとする。	8,000,000円 ※年額400万円を2年間積み立てることとする。	上限額を100,000,000円とする。 ※年額1,500万円を複数年をかけて上限まで積み立てる。	上限額を30,000,000円とする。 ※年額500万円を複数年かけて上限まで積み立てる。
積立額の算定根拠	記念誌の制作、記念式典やPRイベントの実施等について前回実績に基づき1500万円を見込んでいる。	記念誌の制作、PRイベント及び記念行事の実施等について都市対抗における実績等に基づき800万円を見込んでいる。	※過去の実績から、チーム派遣について全額負担する場合、遠征先によっては1000万円～2000万円が見込まれる。 ※50万円(渡航費+宿泊費+食事代等)×30名。年に複数の派遣や複数年連続の派遣も予想されるため、基金の上限は1億円とする。	※クラブ選手権優勝チームには社会人野球日本選手権大会の出場権があり、都市対抗出場も含めて年に複数のチームが対象となる可能性がある。のべ10チーム分程度の積立額は必要である。
備考	具体的な事業計画は大会運営委員会で協議し、理事会の承認を得て事業実施年度の事業計画に盛り込むこととする。	事業計画検討委員会(藤田孝二委員長)は2013年12月までに記念事業計画案を理事会に答申する。理事会の承認を得て2014年度の事業計画案に盛り込むこととする。	※対象とする事業の条件は理事会で協議し別に定める。	支援額については、別に定める「クラブ登録チームの全国大会出場に対する支援金取扱要領」に基づくものとする。
現行の積立額	3,000,000円	4,000,000円	15,000,000円	6,000,000円